２．退職給付費用に関する事項

区　　分	平成24年３月31日現在
勤務費用	21百万円
利息費用	0百万円
数理計算上の差異の費用処理額	22百万円
運営費交付金で財源措置された費用	446百万円
退職給付費用	490百万円

３．退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成24年３月31日現在
割引率	1.2%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
数理計算上の差異の処理年数	発生事業年度一括費用処理

Ⅶ．固定資産の減損関係

減損を認識した固定資産

⑴　固定資産の用途、種類、場所等の概要

用　　途　研究研修棟２棟
種　　類　建物
場　　所　千葉県柏市柏の葉６－５－１
帳簿価格　研究研修棟Ｂ棟　22百万円
　　研究研修棟Ｃ棟　34百万円

⑵　減損の認識に至った経緯

当期に取り壊しを行うために、平成23年８月以降使用しないという決定を行っており、同月以降使用せず除却しております。

⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

損益計算書に計上した金額：該当なし

損益計算書に計上していない金額：

研究研修棟Ｂ棟にかかる損益外減損損失相当額　22百万円
研究研修棟Ｃ棟にかかる損益外減損損失相当額　34百万円

⑷　回収可能サービス価額

売却見込みがないため、使用価値相当額により測定しております。使用価値相当額は、使用しないという決定を行っているため０円としております。

Ⅷ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用及び所有する医療用器械備品の処分時におけるセシウムの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に10年～39年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.965%～2.283%となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	572百万円
有形固定資産の取得に伴う増加額	0百万円
時の経過による調整額	12百万円
資産の除去による履行額	0百万円
期末残高	584百万円

Ⅸ．重要な債務負担行為

翌事業年度以降に支払いを予定している重要な債務負担行為は、以下の通りです。

（単位：百万円）

	契　約　内　容	契約金額	翌年度以降の支払金額
1	治療棟その他工事	3,806	3,806
2	常用発電機設置等工事	1,421	1,421
3	サイバーナイフ	838	805
4	総合設備維持管理業務委託（築地地区）	1,236	618
5	センター・セキュリティシステム導入・運用	569	569
6	陽子線治療システム保守業務委託	704	528
7	医事・陽子線治療システム保守業務委託	1,022	521
8	総合設備維持管理業務委託（柏地区）	552	301
9	中材・消毒、ＳＰＤ・メッセンジャー業務委託	452	226
10	ナースステーションリニューアル他工事等一式	682	219
11	病棟地下３階既存電源システム見直し工事及び点検等一式	178	178
12	陽子線治療システム運転維持管理業務委託	222	166
13	がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務	150	150
14	マルチスライスＳＰＥＣＴ－ＣＴシステム	109	109
15	センター院内ＬＡＮ機器賃貸借	153	101

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。